

質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
1. 脱炭素社会へ向けた町の施策と関連事項について	<p>(1) 鳥取県は、改正地球温暖化対策推進法に基づき、本年1月「鳥取県気候非常事態宣言」を表明した。また、日南町を含む7市町が、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを表明しているが、若桜町も急ぎ表明すると共に、目標と計画を策定すべきと考えるが、所見を伺います。</p>	町 長
	<p>(2) 若桜町における八東川支流の谷川や水路の高低差を利用したクリーンな再生エネルギーとして、小水力発電の有用性が言われて久しい。この間、研究者を介した町の取り組みや民間の取り組みが行なわれてきたと認識しているが、取り組みの結果の説明が不十分であるとする。取り組みの優劣を含めた結果内容について伺います。</p>	町 長
	<p>(3) 脱炭素社会を実現する上で、省エネ化の推進は重要である。町の移住・定住対策として、助成による空き家等の利用に取り組まれているが、制度利用者や施工業者に対して、リフォームの際の省エネ化の指導はされているか伺います。</p>	町 長
	<p>(4) 現在町で取り組んでいる集落内の街灯のLED照明への助成は、大きな役割を果たしているが、更に進めて、町民の住宅内のLED等省エネ備品への助成を実施すれば、町の脱炭素社会への促進策となるのではないかと考えるが、所見を伺います。</p>	町 長
	<p>(5) 昨年度終了した住宅リフォーム制度については、取り組みの見直しを行った上で、検討するとの町の考え方が示されたと認識している。脱炭素社会実現の視点から、助成の際には、省エネ資材、設備を活用するよう推奨することなども検討される必要があると考えるが所見を伺います。</p>	町 長
2. いのちとくらしを支える町の諸施策について	<p>(1) コロナ禍により一層大変な労働を余儀なくされている福祉関連職種処遇改善に対する岸田内閣の目玉政策として、本年2月から介護等医療福祉関係従事者の給料を平均4千円から9千円引き上げる取り組みが行われていると聞く。若桜町社会福祉協議会の介護職など関係者への引上げ状況を伺います。</p>	町 長

<p>2. いのちとくらしを支える町の諸施策について</p>	<p>(2) 今年度町の後期高齢者医療特別会計は広域連合方針により保険料の引上げが行われ、14.92%の増収が見込まれている。保険料の算定基礎である均等割は、47,436円で対前年4,956円の引き上げ、所得割率は9.10%で対前年1.03%引上げの負担増となった。保険料引き上げは、コロナ禍にあつて、物価高騰が収まらない中、後期高齢者にとって大きな影響があると考える。納付に困難な方の発生が懸念されるが、状況を伺います。</p>	<p>町 長</p>
	<p>(3) 本年10月から75歳以上の後期高齢者で、1人世帯年収200万円以上または、1世帯2人以上の場合は、年収320万円以上の対象者は、窓口負担が1割から2割へと2倍の負担増となる。今回の改定がきっかけとなって、近い将来全ての方が2割負担となるのではないかと懸念するが、所見を伺います。</p>	<p>町 長</p>
	<p>(4) 昨年10月25日の総務産業教育民生常任委員会で、若桜町は、令和3年度町村会要望として、「中山間地域における医療・福祉サービス提供体制の充実・確保のため、民間医療機関・福祉事業所に支援を行う町村への財政支援制度の創設について」、提出議案を提出したと伝えられた。この若桜町の町村会要望後の経緯とこれに対する県の対応の内容について伺います。</p>	<p>町 長</p>